

# 会 議 録

## 1 会議名

平成26年度第4回大島区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 1 報 告（公開）

(1) 地区別懇談会の結果について

### 2 協 議（公開）

(1) 第5次行革大綱等の策定に係る意見交換について

(2) 地域活動支援事業に係る課題及び改善策等について

(3) 地域活動支援事業追加募集の審査について

### 3 その他（公開）

(1) 地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者の推薦について

## 3 開催日時

平成26年8月11日（月）午後2時00分から午後3時25分まで

## 4 開催場所

大島コミュニティプラザ2階 市民活動室1

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：石塚隆雄、岩野實、岩野幸子、内山愛治、高橋利津子、武江一義、中村朝彦、早川丈夫、丸田新一、横尾榮一

・ 事務局：山田俊寛行政改革推進課副課長、竹下智之行政改革推進課係長、本山信治大島区総合事務所長、太田徳夫次長、春日健一産業グループ長、竹内敬次建設グループ長、滝沢恵一市民生活・福祉グループ長、池田裕総務・地域振興グループ班長

## 8 発言の内容

【石塚会長】

定刻になりましたので、平成 26 年度第 4 回大島区地域協議会を開会いたします。

本日は吉原忠正委員が欠席であります。上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、会議が成立します。会議録の確認については、丸田新一委員にお願いします。

日程について説明いたします。会議次第をご覧いただきたいと思います。報告事項 1 件、協議事項 3 件、その他 1 件となっております。今日は第 5 次行革大綱等の策定に係る意見交換ということで、行政改革推進課から説明においでですので、これを最初に行い、その後、報告事項、協議事項と進めていきたいと考えております。

議題(1) 協議 (1) 第 5 次行革大綱等の策定に係る意見交換について

【石塚会長】

第 5 次行革大綱等の策定に係る意見交換について、説明をお願いしたいと思います。

【山田行政改革推進課副課長】

— 別冊資料により説明 —

【石塚会長】

説明が終わりました。皆さんご質問はありますか。私から 1 点お聞きします。9 ページに、組織機構の改革、木田庁舎・総合事務所のあり方など組織機構の見直しを行うとあります。実施方法等見直しを継続するとありますが、各区の総合事務所をどのようにする考えなのかお聞かせください。

【山田行政改革推進課副課長】

それも含めて、今検討しているところです。産業建設グループの集約ということで、13 区一斉に導入しましたが、その検証や、あるいは、最後にご説明した事務事業の総点検ということで、木田庁舎の全ての課、それから 13 区の総合事務所を含めてですが、各職員がどのくらいの業務を行っているのかを細かく報告して、人事課で集計しているところです。それを基に、1 次評価の総点検や、1 次評価のヒアリングを行い、9 月頃には最終経過をまとめるところです。それを受けてどのようにしていくかということは、平成 27 年度以降、どのような人員体制、あるいは組織、これは 13 区だけではありませんが、このようなことも含めてどう進めればいいのかといったところが今後の検討課題になると思います。

【石塚会長】

このような書き方をされると、今まで行ってきた産業建設グループの集約のように、

次にまた何かを集約するという感じがします。そのようなことはありませんか。

**【山田行政改革推進課副課長】**

今現在は、たぶんフラットの状態だと思います。特別に何か意図しているわけではありません。全くの洗い出し作業です。組織形態についてですが、市全体の人口も減っています。これは全国的な傾向ですが、それに伴って、職員数は現状のまま維持していくことはあり得ないでしょうし、このような状況で、それではどのような組織、部、課、それから総合事務所、どのようなものが必要なのかと。市民サービスの低下をきたさないで、少ない人数でどのようにやっていけるのか。そういったことをこれから検討していきたいと思っています。

**【石塚会長】**

今よりさらに総合事務所が弱小化されていくのではないか。そんなことが非常に懸念されます。

**【山田行政改革推進課副課長】**

まずは市民の安全安心を、市として守っていかなければなりません。生命と財産を守っていかなければなりません。これはもう根幹ですので、そういったことのサービス提供を、支障がないようなかたちで取り組んでいくというのが基本です。

**【石塚会長】**

皆さん何かありませんか。

**【武江委員】**

耐震化の件ですが、現在 58%となっています。これから、小学校で 50 人、60 人以下の学校が増えると思いますが、何千万円、何億円もかけて耐震補強していく予定ですか。統合ということは考えない。その辺はまた別の話ですか。

**【山田行政改革推進課副課長】**

まず、人口が減って利用する人が減ってくる。子どもの数も減ってくるようになれば、施設の再配置が必要になってきます。そうしたなかで、学校もその中に当然入ってきます。いろいろな施設、今ある施設をそのまま維持していくことは非常に困難であるということは、先ほどご説明しましたが、残す施設については、計画的に予防保全でしょうか、計画的な維持管理を行います。ご質問の小学校についても、どんな形で集約できるのだろうかということや、残すと決めた施設については、当然危険性がある場合には耐震補強していくという考え方でいます。

**【丸田委員】**

歳入確保の取り組みの推進についてですが、未利用の財産、土地などは多々見えるわけですが、これについてはできるだけ早く調査して、貸し付ける所は貸し付け、売るものは売るというかたちで、取り組んでいただけないでしょうか。原野みたいになっている所もあるわけです。隣接の皆さんが迷惑している所もありますから、管理をしっかりしていればよいのですが、管理が行き届かない所ありますので、きちんとお願いしたいと思います。

**【山田行政改革推進課副課長】**

いまほどのようなご要望は、いろいろな区でも出ていることですし、市役所としても課題意識を持っています。管理が行き届かないという所で、近隣の皆さん、住民の人にご迷惑をおかけしているという事例については、今初めてお聞きしました。それにつきましては、所管課にそのような声があったことを伝えていきます。未利用財産の売却については、これは少し戦略不足だったということは、現行の第4次の行政改革の中での課題と言いますか、認識をしております。それについては、戦略を持って今後とも向かっていくということで進めていきますし、第5次の中に具体的なことも盛り込めたらいいなと考えています。

**【岩野實委員】**

市の財産、未利用の土地の売却を考えているようですが、大島区でも、私の知っている範囲でもいろいろあります。土地の売却について、今後どのようなかたちで、大島区総合事務所で地域にアピールしていくのか。ただこのような文言を書いても、どのような方法で実施していくのかと思います。私どもは、市有地を利用させていただいている当人ですのでお伺いします。共同苗代ということで、大島の山と言いますか、その土地を私どもがお借りしています。その土地がここに掲げられているように、買うことが、もちろん安くそれが前提だと思いますが、買わせていただくにはどのような方法で、またどこに相談をしたらいいのかとか、私どもの実態に即した考えをお聞きしたいと思います。

**【本山所長】**

実態はわかりますので、お答えしたいと思います。岩野委員の組織は、任意の生産組織であり、市の用地を借りて、育苗施設を造られています。土地の売買については、大島区総合事務所でも所管課と一緒に進めていかなければなりませんので、相

談等は、総務・地域振興グループで承っております。ただし、生産組織そのものが任意団体ですので、任意団体で土地を求めるということは、非常に難しい面があると思います。法人化していれば、楽に取得できると思いますが、遠慮なく相談していただきたいと思います。ただ、現在使用している用地は広い面積になりますので、試算すればかなりの金額になってくるのかなと思います。担当に私からも話をしておきますので、ご相談していただきたいと思います。

**【岩野實委員】**

所長の話は、理解できました。ぜひ実現できるような努力をお願いしたいなと思います。

**【山田行政改革推進課副課長】**

対法人であれば、それと未利用ということ、ここに記載しましたが、実際には苗代ということで、利用されている。未利用というとは別の話になると思います。それから、未利用というとは、本当に全く使っていない土地です。たとえば収用して、これも一緒に買ってほしいということで購入した土地や、実際に使っていないけれども、残っている市の所有地、市の所有であるから草刈りをしなければならない、といったものも含めて、なかなか売却は厳しい状況です。ただ、そういった財産だけでなく、ある程度の固まりで持っている土地があって、それについては戦略的に売ってこなかったという反省、これは当然やっていかなければなりません。そうは言っても、財産について、どういったところで、13区を含めてですが、市のどこにあるのか、まずそれぞれの担当部門で調査しまして、それではどういった方法で売却あるいはお貸しできるのか、といったところは、すでに、第1段の指示といいますか、実施しています。これがまた、平成27年度から始まる第5次の行政改革の中でも、もう少し戦略的な形で進めていくということで検討しています。具体的には今後詰めていくという状況です。

**【竹下行政改革推進課係長】**

土地の話ですので私からもご説明します。土地の売却がなかなか進まない理由の1つを説明させていただきます。通常土地を取得する場合には、測量し、土地の境界確認を行うといった作業が必要になってきますが、土地を売却するにあたっては、後々その売却した先と、近隣の皆さまと土地のいざこざが起きないようにするために、売るにしてもやはり測量して、境界確認を行っています。売るにしても費用が発生してくることが、なかなか売却が進みにくいという事情がひとつです。

**【石塚会長】**

測量に関しては、この大島区の場合、国土調査が終わっているわけだから、問題ないと思います。

**【竹下行政改革推進課係長】**

大島区で言えば、確かに国土調査されている部分ではすんなりいく場合もあります。逆に市が買収し、その時点で分筆などがありますと、当時といろいろな状況が変わっている部分がありますので、改めて境界確認が必要になる部分があったり、測量はもしかしたら不要になるかもしれませんが、法務局に出ている図面に基づいての境界確認だとか、そういったことはなるべく市といたしましても、売却する相手方にきちんと説明できる状態でないと、なかなか売れないような状況であるということもご理解いただければと考えております。

**【丸田委員】**

私のすぐ隣の家ですが、誰の土地だかわからない土地があります。私が家を建てる時に、合併前でしたので、大島村役場にお願ひし、土地の関係事務所で調査しましたが、まったくいまだ進んでいません。誰の土地だかわかりませんが、私が除草し、管理しています。そのようなことも早めにきちんと調べて、対応できるようにしていただきたいと思います。このような状況の土地は結構あるのではと思います。いつまでたってもわからないようでは困りますので、そういうところをきちんと進めていただきたいと思います。

**【山田行政改革推進課副課長】**

基本的には、市の財産かどうかというところですが。

**【岩野實委員】**

私も長く町内会長をしており、丸田委員の言われる土地や、この近くに、ほかにも同様な土地があります。その土地は、お墓の空白地、あるいは、お堂さんとか、お寺が廃寺になった土地です。そのような土地は、名義は誰でもありません。市でもありません。それでは、国なのかと思ったら、国でもありません。何とかこれを解決しようと思い、大島区出身の司法書士事務所に5、6年通いましたが、とうとう向こうでも手を挙げたような状態になりました。土地は丸田委員の家の近くで、丸田委員も苦労しているので、なんとか解決し、大平集落の土地として登記してもらえれば、丸田委員に売却できるだろうと、私もそのような気持ちで一生懸命動きましたが、司法書

士事務所が、手を挙げたということです。

**【山田行政改革推進課副課長】**

市以外の土地に市が介入するという事は、基本的にはありえないので、それを解決ということになりますと、それぞれの専門家がいますので、そこにおつなぎするといったことは市の職員はできるかなと思います。

**【岩野實委員】**

市の職員は直接動くというのはだめですか。

**【丸田委員】**

ある程度のところまで解決したのだけれど。

**【岩野實委員】**

大平集落で組織を作って、みんなで署名して、それを持って、司法書士事務所へ行ったところ、1か月もあれば解決するという話でした。司法書士事務所へ行ってみたら日数が掛かってしまった。丸田委員も大変だと思います。草刈りして管理しているのを知っていますし、今後いい知恵があったら教えてください。

**【石塚会長】**

ほかにございませつか。これで終わりたいと思います。

— 休憩 —

議題(2) 報告 (1) 地区別懇談会の結果について

**【石塚会長】**

休憩を閉じて会議を再開いたします。報告事項、地区別懇談会の結果について説明をお願いします。

**【太田次長】**

— 資料No.1により説明 —

**【石塚会長】**

地区別懇談会の結果についてはこれで終わりたいと思います。

議題(3) 協議 (2) 地域活動支援事業に係る課題及び改善策等について

**【石塚会長】**

続きまして、協議事項に入ります。地域活動支援事業に係る課題及び改善策等について、説明をお願いします。

**【池田総務・地域振興グループ班長】**

地域活動支援事業に係る課題及び改善策等についてご説明いたします。特に資料はありませんが、事前に皆さんに、今日までにそれぞれ改善策、課題を記入して、持ってきていただきたいというお願いの文書を出しております。それに基づきまして、地域協議会として意見をまとめていただき、自治・地域振興課に報告したいと考えております。よろしくお願ひしたいと思ひます。事務局の考えとしましては、今まで大島区においては大きな問題点もなかったと思ひますし、配分額に対して要望額も同じか少し下回る、今年は少し変わりましたが、それぐらいでしたので、特に大きな問題もなかったと思ひております。ただ1点、補助金が事業の補助という性格ではなく、実施団体の運営費的な使われ方をしてることがあるということと、同じ団体が同じような事業を継続して補助を受けている場合、年数を区切っていったらどうなのかなということを感じてはおります。最終的には地域協議会の皆さまで協議いただきまして、決定していただければと思ひます。地域協議会の意見のほかに、総合事務所としての意見も求められておりますので、それは別に報告したいと思ひております。よろしくお願ひします。

**【石塚会長】**

今日皆さんで、お持ちいただいた人はいますか。

**【池田総務・地域振興グループ班長】**

— 3件提出あり 回収し、読み上げ —

**【石塚会長】**

3人から提案がありましたが、私は少し勘違いしていたのか、文書をいただいた時に、自治・地域振興課からの地域活動支援事業についてという事だったので、現行制度について何かお願ひすることは無いと考えていたので、何も持ってきませんでした。事務局の説明に同感だなと感じていますが、3年連続同じようなかたちで活動されている団体に対して補助していることについて、これについては、市の制度というより、大島区の中での申し合わせで、決めればよいと思ひています。私は3回が限度だろうという考えを持っています。皆さんの声をお聞かせいただいたほうがいいのか、または、それは来年度の大島区の募集要項を定める前に、皆さんで協議したほうがいいのか、そういう点はあると思ひますけれど、皆さんいかがでしょうか。ここで結論をだしてだとか、議論するのはどうなのかなと思ひますけれども。

**【岩野實委員】**



正式に会長の考えを聞いたのは初めてだと思います。来年度への猶予期間がありますし、その間ほかの区の意見を聞いたりして、それぞれが意見を持ち寄って、結論を出したらよいのではと思います。個人的にはこの事業は、補助する団体や事業を一人前に育てる、見込みがつけば手を引く、そういうものも大事なんだろうと思います。今後そういうことについて、研鑽をしていきたいと思います。

**【池田総務・地域振興グループ班長】**

自治・地域振興課への報告が9月23日までとなっております。本来であれば9月中にもう一回地域協議会を開催して、これについてお話しいただくことが必要かなと思いますが、大島区地域協議会におきましては、毎年9月は地域協議会を開いていない。そういった経過がありましたので、取り急ぎ事前に皆さまのほうへお手紙をお渡ししまして、この場で決めていただきたいなということをお願いをしたということであります。

**【石塚会長】**

3人から提案されたものについては、あえて市へ報告するというよりも、来年の要望を取りまとめる前に大島区独自で申し合わせをすればそれで済むと思う。ですから、ほかに皆さんから意見等がないとすれば、大島区地域協議会としては、地域活動支援事業については現行制度で異議なしでよいと思う。

**【本山所長】**

そのようなまとめ方でよろしいかと思えます。

**【石塚会長】**

補助事業として、このように我々の意見を最大限に認めて進めている事業は、まず他にないと思います。行政の皆さんが大きく関わっている事業だとすれば、このようなわけにはいかない。地域活動支援事業については、今後とも大いに続けていただきたい、そう思っています。現行制度でよいのではという気がします。ただ、配分額、中山間地振興基本条例にありますように、中山間地にもっと厚くしていただければもっとありがたいという気持ちがあります。皆さんどうでしょうか。私はそのように考えますが。

— 同意の声あり —

**【石塚会長】**

余談になるかもしれませんが、ある区では、1つ2つの区ではありませんが、

地域活動支援事業の審査に追われて、ほかの大事な協議を行う時間が無いと、会長会議で意見が出ています。現実的に、1週間ほど前に何回目かわかりませんが、審査している区があります。何回も審査を行わないという意味から、去年の申し合わせで2次募集までとし、3次募集以降はやらないと申し合わせしたにも関わらず、募集、審査を行っているということで、逆にどうしても何か記入するというのであれば、何回も追加募集することをやめたらどうですかということぐらいかと思います。皆さんよろしいでしょうか。以上で地域活動支援事業に係る課題及び改善策等についてを終わります。

#### 議題(4) 協議 (3) 地域活動支援事業追加募集の審査について

##### 【石塚会長】

地域活動支援事業追加募集の審査について説明をお願いします。

##### 【池田総務・地域振興グループ班長】

— 資料No.2 により説明 —

##### 【石塚会長】

それでは審査に入ることにいたしまして、ここでしばらく休憩いたします。

— 休憩。休憩中に審査。 —

##### 【石塚会長】

休憩を閉じて会議を再開します。皆さんと協議の結果、青少年健全育成事業として大島っ子を育む会から提案されているこの事業については適当と認め、事業採択することに決定したいと思います。ご異議ございませんか。

— 異議なしの声あり —

##### 【石塚会長】

ありがとうございます。では、採択することに決定いたします。

#### 議題(5) その他 (1) 地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者の推薦について

##### 【石塚会長】

次にその他といたしまして地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者の推薦についてを議題といたします。

##### 【池田総務・地域振興グループ班長】

— 資料No.3 により説明。仁上町内会の仁上駐車場舗装事業と都合がつかない場合は、飯田邸保存会の菖蒲「飯田邸」前庭整備事業を提案 —

【石塚会長】

仁上町内会によるほたるの会の活動状況について推薦するという事務局案ですが、皆さんのご意見はどうでしょうか。

【岩野實委員】

お願いします。

【石塚会長】

もし仁上町内会がどうしても都合が悪いといった場合には、どうしたらよろしいでしょうか。事務局の案どおりでよろしいですか。

— はいの声あり —

【石塚会長】

では、飯田邸保存会の飯田邸の保全活動についてということに決めたいと思います。事務局で事業主体へ連絡して、お願いしたいと思います。

議題(6) その他 (2) その他

【石塚会長】

会議次第にはありませんが、下岡橋の工事進捗状況について、竹内建設グループ長から説明をお願いします。

【竹内建設グループ長】

下岡橋撤去ですが、進捗状況を説明いたします。7月24日に、下岡橋撤去工事の入札が行われ、請負業者が東武土木株式会社に決定しました。具体的な仕事につきましては、工事の準備等があり、お盆明け頃から始まりますが、橋の撤去開始を9月中旬から始めたいと考えています。それまで準備工があります。地元には、8月7日夜7時から、集落センターで長者島町内会と下岡町内会の皆さんから集まっていただき、説明会を行いました。工事は期間がかかりますが、なるべく早く、歩くだけでも通行できるようにしてもらえないかという要望もありましたので、平成29年度まで工事がかかりますが、歩く部分についてはなるべく早いうちに完了したいと考えています。道路も130メートルあり、33メートルが橋で、そのほか前後道路が約100メートルあります。その工事を含めると平成29年度までとなっておりますが、要望に沿うようにしたい、歩くだけでも早く完了したいと思っていますので、よろしくをお願いします。

【石塚会長】

もう1件あります。ふれあい館屋根改修工事について、進捗状況を滝沢市民生活・

福祉グループ長からお願いします。

**【滝沢市民生活・福祉グループ長】**

大島多目的ホール屋根改修工事についてご説明いたします。請負事業者は株式会社武江組です。請負金額は2,511万円で、工期は平成26年8月5日から平成26年11月2日となっています。明日8月12日午後2時から工程について、大島区総合事務所で協議する予定です。また、工期内に大島多目的ホールを使用する事業は、8月中は県外の中学、高校の運動部合宿、9月7日に大島区敬老会、9月14日ふれあいコンサート、10月25日、26日大島区生涯学習フェスティバル、大島音楽祭が予定されておりますが、事業実施に支障が生じないよう最大限の努力をしております。

**【石塚会長】**

予定していた案件については以上ですが、その他として皆さん何かありますか。

**【高橋委員】**

集落へ出向いたら、AEDの話が多くありました。大島区ではAEDの設置数が少ないので、もう少し増やしてほしいと要望がありました。

**【本山所長】**

市では設置基準を設けています。その基準に従って設置しています。お話は担当課に伝えたいと思いますが、大島区総合事務所、ふれあい館、あさひ荘、庄屋の家、小・中学校、診療所、保育所にAEDがあります。AEDの設置が増えていますが、市はいろいろ基準を設けて設置していますので、要望があったことは伝えていきたいと思っています。

**【岩野幸子委員】**

救急医療情報キットはいつ配布になるのでしょうか。春先というお話でしたが。

**【滝沢市民生活・福祉グループ長】**

7月下旬を目途でしたが、最終的にまとめて、全世帯配布分の名簿等も用意しております。

**【石塚会長】**

ほかにありませんか。無いようですので、次回の日程についてですが、先ほど事務局から話がありましたが、大島区については、9月は1年で一番忙しい時期だということで、開催しておりません。特別な案件が出てくれば別ですが、なければ9月の地域協議会は開催しないという方向で考えております。よろしいでしょうか。そのほか

何かありますか。

**【春日産業グループ長】**

私から1点だけ報告をさせていただきます。7月17日の第3回地域協議会におきましてお知らせしました、大浦安元気市の開催について報告します。第1回は浦川原区内ということで、8月9日、先週土曜日ですが、午前9時から午後3時まで、6時間で開催いたしました。えちご上越農協の浦川原物産館の前をお借りし、浦川原物産館の夏野菜フェア等も同時開催ということで開きました。今回、3区連携事業ということで事業に取り組みましたが、出店者につきましては、16団体、間口については、21間口となり、テント等も設営し、出店いただいております。大島区からは、大島農業振興公社が野菜、トマト等を中心に出店し、ゆきぐに森林組合は、生のナメコを販売していただきました。また、「やまざくら」は移動販売車での販売を行っています。旭地区のやまゆりの会の皆さんからも「一口まくわ」等野菜を販売していただきました。そのほか浦川原認定農業者会や、安塚区の皆さんからも出店していただきました。野菜以外のものでは、「岩室の会」というのが浦川原区ありまして、そこで、カクテルやポテトチップスといった少し風変わりなものも、現場で調理して販売していただいたり、安塚のパン屋さんが販売をしたり、当初予定していたかたちで、第1回を終わることができました。2回以降の計画ですが、各区を持ち回るとということで、10月中の開催を目指して、できれば2回目は大島区でお願いしたいと考えております。第1回の検証を含め、近々開催する実行委員会の中で、第2回の計画を詰めていきたいと考えております。また、その節は地元の皆さんから数多く出店いただくようお願いしていきたいと考えております。開催時間ですが、6時間というと長く、お昼をすぎるとほとんどお客さんが来ない状況ですので、午前9時ころから午後1時ころが限度かなという感じを持ったところです。新潟日報にも掲載いただいておりますが、今後も地域の活性化ということで、進めていければと思っています。また、北越急行からも後援をいただいて、北越急行のコーナーを作っております。グッズの販売などもしていただいたところです。以上、元気市の開催状況ということで、報告させていただきます。

**【石塚会長】**

今のことで何かお聞きしたいことはありますか。よろしいですか。

**【丸田委員】**

私は9時過ぎに行きましたが、よかったですね。旭のやまゆりの会では完売したそうです。非常ににぎわっていましたね。

**【石塚会長】**

ほかにございませんか。なければ、以上をもちまして第4回大島区地域協議会を閉会といたします。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線 61）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。